

安全安心街づくりに関する市民意向調査について

1 調査概要

| | |
|------------------|--|
| 1 調査の目的 | ○仙台市安全安心街づくり基本計画の見直しにあたり、市民が日常生活において、安全安心について感じていることや、施策に対する意見を把握するための基礎資料とするため。 |
| 2 調査対象者 及び回収数 | ○仙台市内に居住する満20歳以上の男女2,000人 ○アンケート調査：2,000件、回収数：1,169件、回収率：58.5% |
| 3 調査方法 | ○郵送法（定型質問紙によるアンケート方式） |
| 4 調査項目 | ○回答者の属性 ○安全安心街づくりについて ①安全安心街づくりの現状・課題について ②個人や地域の防犯対策について ③行政の防犯対策について ④街中における迷惑行為について ⑤自由意見 |
| 5 調査期間 | ○平成27年5～6月 |

2 市民意向調査に見る市民意識

(1) 犯罪が発生する可能性について

日常の行動範囲内で犯罪が発生する可能性について、高くなったと感じている方の割合は、22年6月調査より**13.9ポイント減少**しました。

高くなったと答えた方にその理由を聞いたところ「犯罪が多様化、巧妙化してきたから」（67.0%）、「全国的に凶悪な事件が多発しているから」（53.8%）が上位を占めています。

また、日常生活の身近なところで発生する可能性の高い犯罪として「高齢者が被害者となる犯罪」（36.3%）、「悪徳商法や詐欺など」（35.7%）が上位を占めています。

地域で犯罪の発生を招くものとして不安に感じているものを聞いたところ、「道路や公園の暗がりや見通しの悪さ」（55.9%）、「空家、廃屋、空き地」（28.1%）、「たばこやごみのポイ捨ての放置」（27.2%）が上位を占めています。

(2) 地域の防犯対策について

地域の防犯力を高めるために必要な取り組みを聞いたところ、「地域内の暗がり等の危険箇所点検」（58.9%）、「児童の登下校時の通学路の見守り・パトロール」（57.6%）、「夜間のパトロール」（40.5%）が上位を占めています。

また、防犯活動の必要性については、89.7%の方が「必要だと思う」と回答しており、53.3%の方が「機会があれば参加したい」と回答しています。

防犯活動に参加している人に、成果があったと感じていることについて聞いたところ、「地域住民に知り合いが増えた」（55.6%）、「地域住民が安全に安心して暮らせる街づくりの必要性を感じ

じた」(43.2%)、「地域の連帯感が強くなった」(39.5%)が上位を占めています。

一方、防犯活動に参加して感じた課題を聞いたところ、「参加者数の維持が困難又は不足している」(44.4%)、「行政、警察、学校等や町内会、防犯団体との連携が足りない又は連携できない」(28.4%)、「地域の理解、協力が得られない又は得にくい」(21.0%)が上位を占めています。

(3) 行政や警察に望む防犯対策について

安全安心街づくりのために重要と考える行政や警察の取り組みを聞いたところ、「防犯灯や街路灯を整備する(道路を明るくする)」(53.0%)、「警察官による巡回活動を強化する」(47.6%)、「地域の犯罪発生状況を提供する」(44.0%)が上位を占めています。

(4) 迷惑行為について

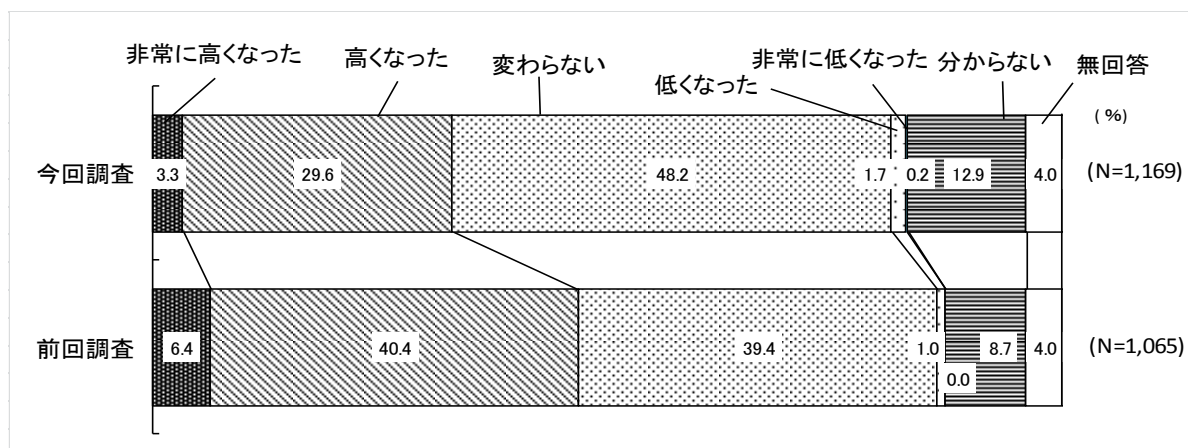
この1年間で迷惑と感じた行為を聞いたところは、「自転車の走行マナーの悪さ」(50.0%)、「空き缶・ごみ・たばこ等のポイ捨て」(43.8%)、「携帯電話(スマートフォン)のマナー」(43.5%)、「歩きたばこ」(40.7%)が上位を占めています。

3 調査結果(抜粋)

(1) 犯罪が発生する可能性

問6 あなたやあなたの家族が犯罪に巻き込まれたり、犯罪が発生する可能性について、どのようにお感じですか。日常の行動範囲内(自宅周辺及び市内の通勤・通学、買物等で行く地域)であてはまるものをお答えください。(〇は1つ)

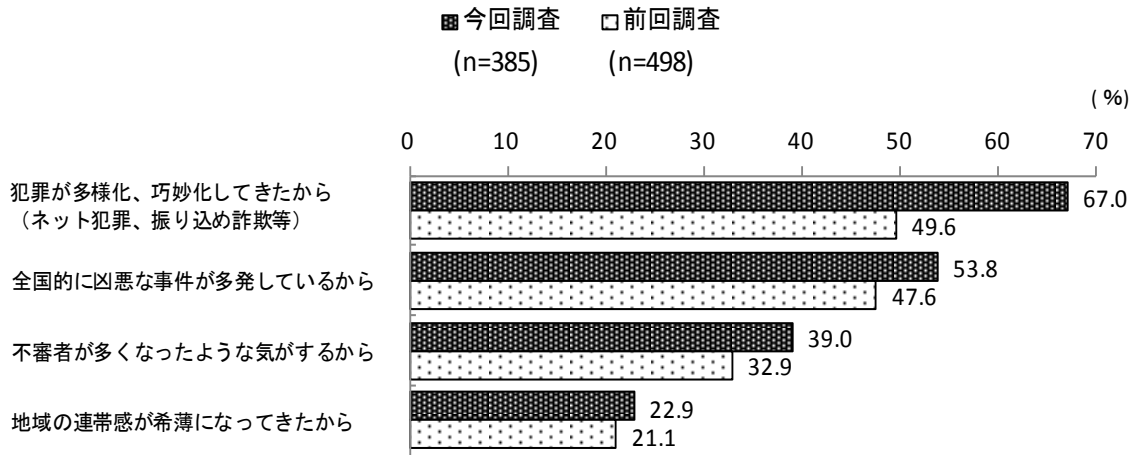
<図表2-1>犯罪が発生する可能性について/前回比較



犯罪が発生する可能性が高いと感じている人は、前回調査46.8%から32.9%へ13.9ポイント減少し、安全安心な街づくりへの取り組みの成果が現れていると考えられます。

問6-1 犯罪が発生する可能性が高くなったと感じる理由はどれですか。あてはまるものをお答えください。(〇は3つまで)

<図表2-3> 犯罪が発生する可能性が高くなったと感じる理由/前回比較

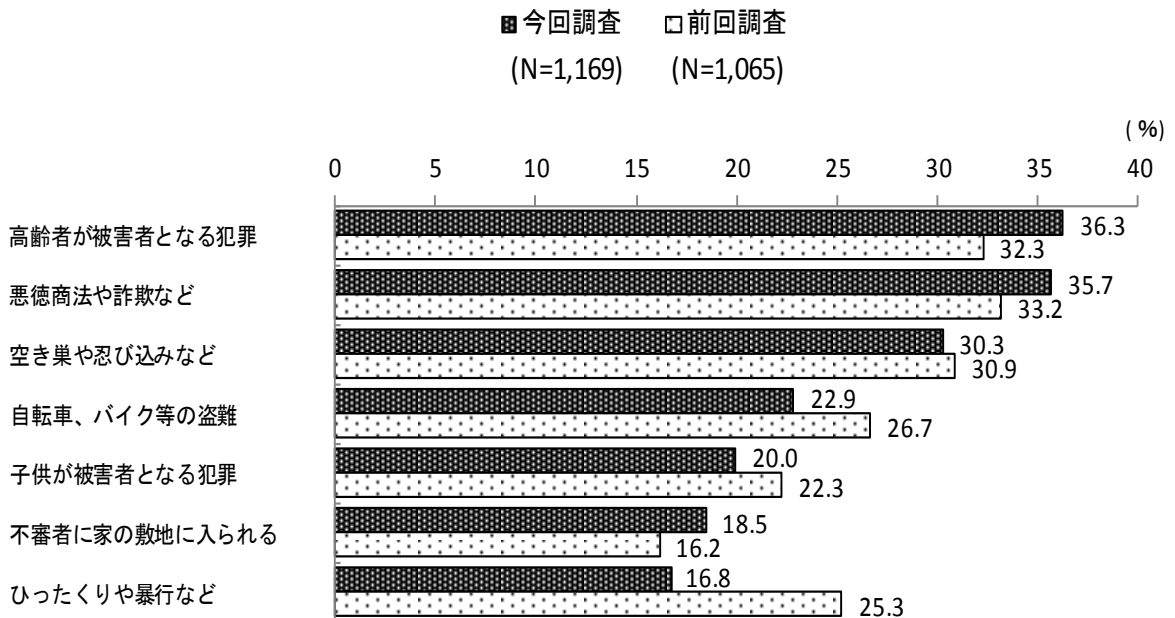


◎ 犯罪が発生する可能性が高くなったと感じる理由は

- 1 「犯罪が多様化、巧妙化してきたから (ネット犯罪、振り込め詐欺等)」 (67.0%)
- 2 「全国的に凶悪な事件が多発しているから」 (53.8%)

問7 あなたは、日常の行動範囲で発生する可能性が高いと思う犯罪は次のうちどれですか。(〇は3つまで)

<図表2-5> 日常生活において発生する可能性が高いと思う犯罪/前回比較

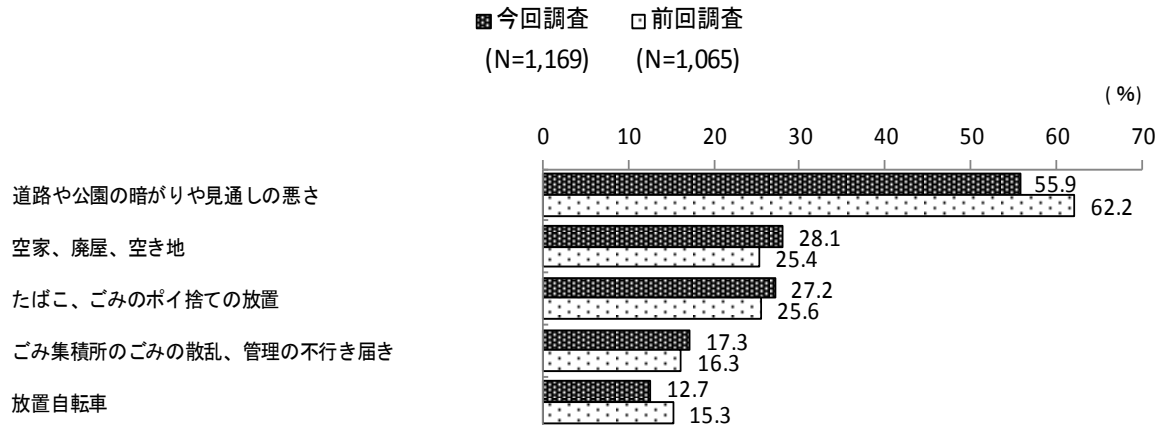


◎ 日常生活において発生する可能性が高いと思う犯罪は

- 1 「高齢者が被害者となる犯罪」 (36.3%)
- 2 「悪徳商法や詐欺など」 (35.7%)

問8 あなたのお住まいの地域で、犯罪の発生を招くものとして不安に感じているものは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

<図表3-1>地域で犯罪の発生を招くものとして不安に感じているもの/前回比較



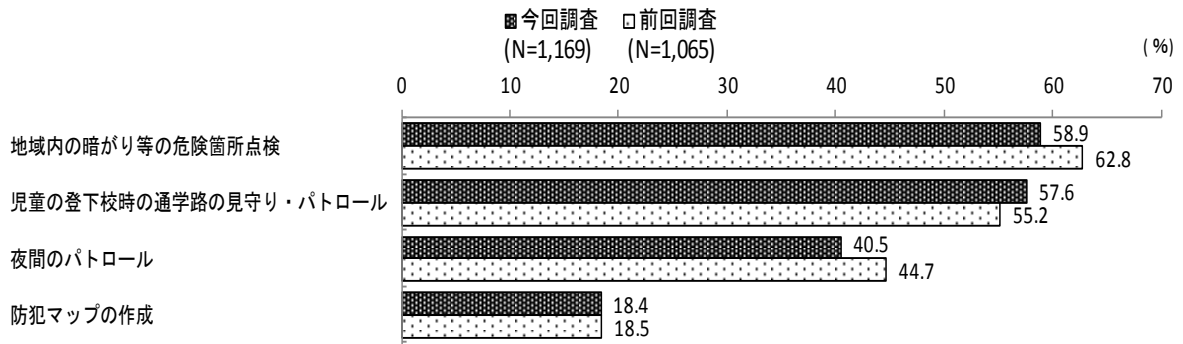
◎ 地域で犯罪の発生を招くものとして不安に感じているものは

- 1 「道路や公園の暗がりや見通しの悪さ」(55.9%)
- 2 「空家、廃屋、空き地」(28.1%)
- 3 「たばこ、ごみのポイ捨ての放置」(27.2%)

(2) 地域の防犯対策

問10 あなたは、地域の防犯力を高めるためには地域でどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(〇は3つまで)

<図表3-5>地域の防犯力を高めるために必要な取り組み/前回比較

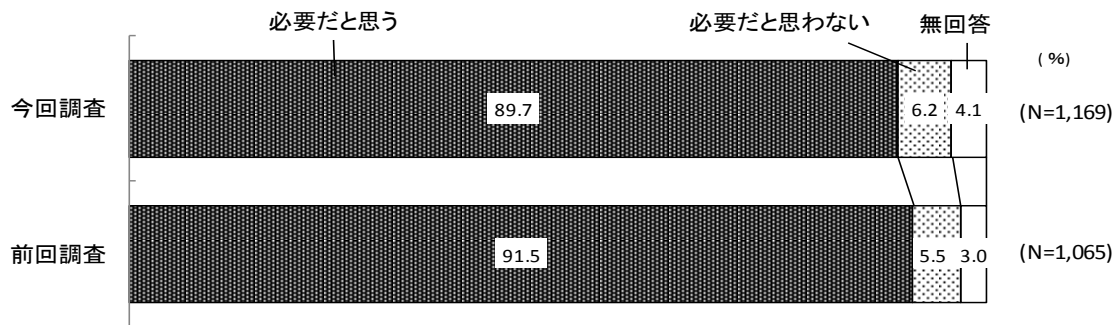


◎ 地域の防犯力を高めるために必要な取り組み

- 1 「地域内の暗がり等の危険箇所点検」(58.9%)
- 2 「児童の登下校時の通学路の見守り・パトロール」(57.6%)
- 3 「夜間のパトロール」(40.5%)

問 12 あなたは、地域の防犯活動は必要だと思いますか。(〇は1つ)

<図表 3-9>防犯活動の必要性/前回比較

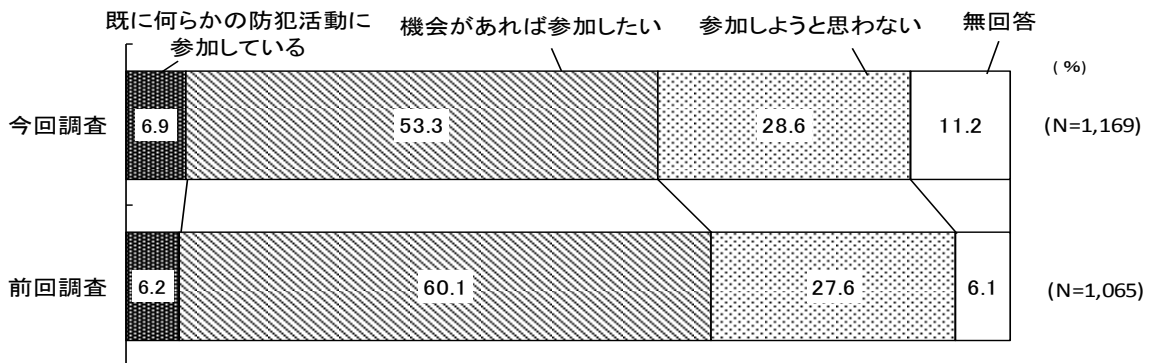


◎ 防犯活動の必要性

- ・ 89.7%の方が「必要だと思う」

問 13 あなたは、地域の防犯活動に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

<図表 3-13>防犯活動への参加意向/前回比較

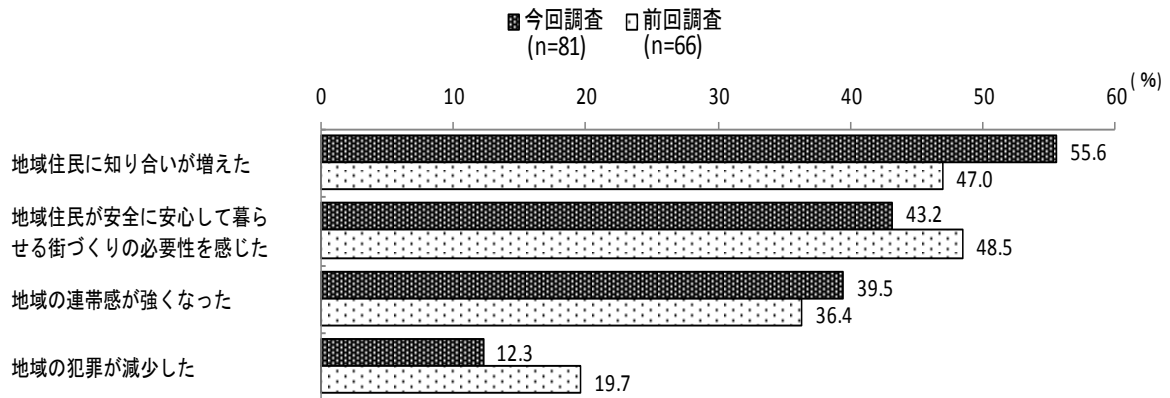


◎ 防犯活動への参加意向

- ・ 53.3%の方が「機会があれば参加したい」

問 13-1 防犯活動に参加してどのような成果があったと感じていますか。(〇はいくつでも)

<図表 3-15>防犯活動に参加して成果があったと感じていること/前回比較

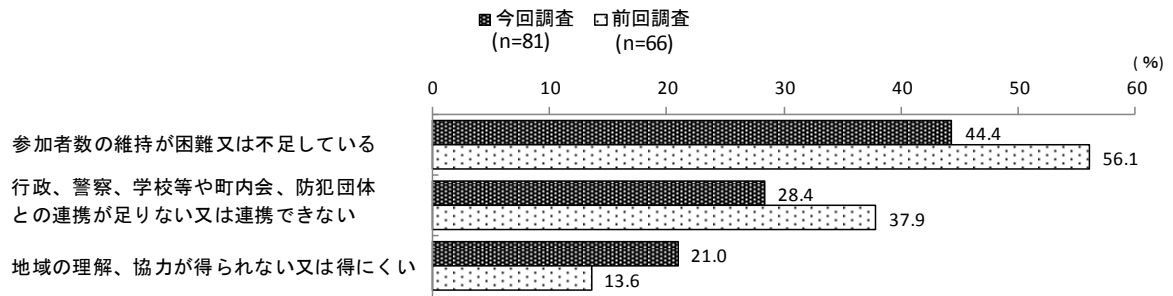


◎ 防犯活動に参加して成果があったと感じていること

- 1 「地域住民に知り合いが増えた」(55.6%)
- 2 「地域住民が安全に安心して暮らせる街づくりの必要性を感じた」(43.2%)
- 3 「地域の連帯感が強くなった」(39.5%)

問 13-2 防犯活動に参加して何らかの課題を感じていますか。(〇はいくつでも)

<図表 3-17>防犯活動に参加して感じた課題/前回比較



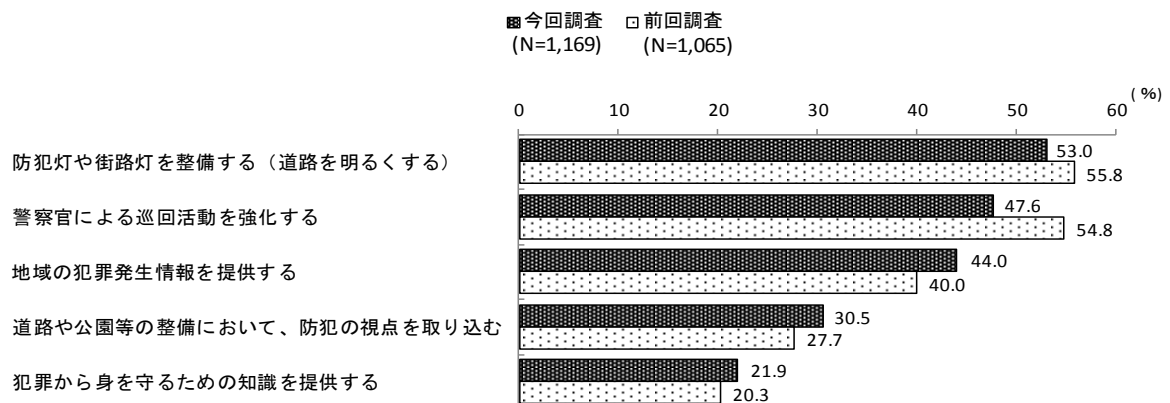
◎ 防犯活動に参加して感じた課題

- 1 「参加者数の維持が困難又は不足している」(44.4%)
- 2 「行政、警察、学校等や町内会、防犯団体との連携が足りない又は連携できない」(28.4%)
- 3 「地域の理解、協力が得られない又は得にくい」(21.0%)

(3) 行政や警察に望む防犯対策

問 14 あなたは、犯罪のない安全で安心な街づくりのために、行政や警察のどのような取り組みが重要であると思いますか。(〇は3つまで)

<図表 4-1>安全で安心な街づくりのために重要と考える行政や警察の取り組み/前回比較



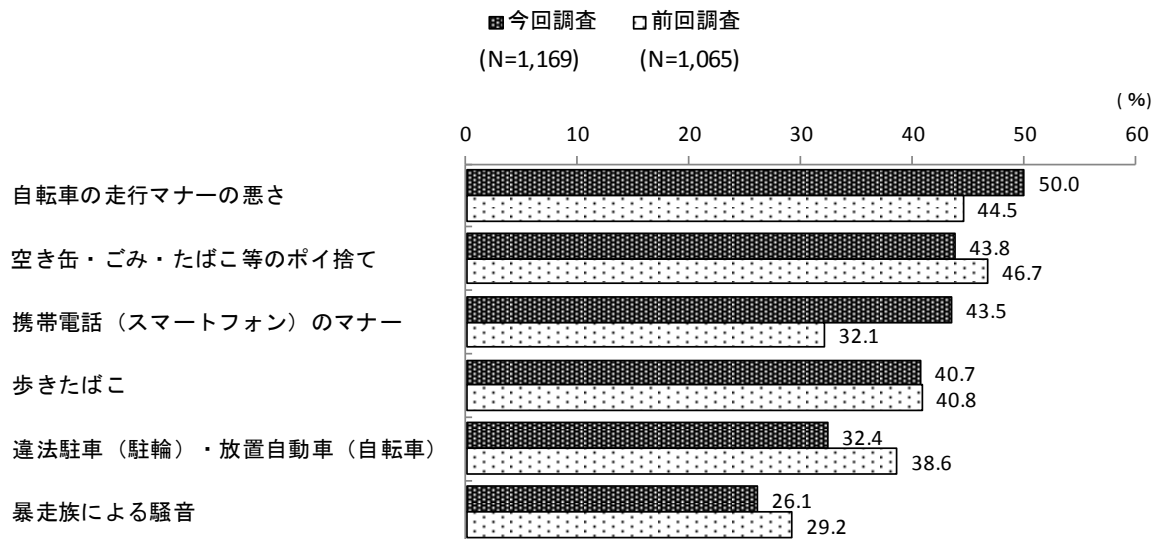
◎ 安全で安心な街づくりのために重要と考える行政や警察の取り組み

- 1 「防犯灯や街路灯を整備する(道路を明るくする)」(53.0%)
- 2 「警察官による巡回活動を強化する」(47.6%)
- 3 「地域の犯罪発生状況を提供する」(44.0%)

(4) 迷惑行為について

問 15 あなたが、この1年間で迷惑と感じた行為としてどのようなものがありましたか。
(〇はいくつでも)

<図表 5-1> 1年間で迷惑と感じた行為／前回比較



◎ 1年間で迷惑と感じた行為

- 1 「自転車の走行マナーの悪さ」(50.0%)
- 2 「空き缶・ごみ・たばこ等のポイ捨て」(43.8%)
- 3 「携帯電話(スマートフォン)のマナー」(43.5%)
- 4 「歩きたばこ」(40.7%)